

北区の景況

令和4年4月～令和4年6月期

調査対象 製造業 95社 小売業 60社
サービス業 28社 建設業 32社

調査方法 面接聴取法




調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会




分析作成 (株) 総合企画




本概要版は、令和4年6月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間(令和4年7月～9月期)の予想をまとめたものです。




好調 ← 普通 → 不調

	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製造業	前期		業況 DI (Δ19.0) は前期比 8.7 ポイント増と、5 期連続の改善となった。全都 (Δ17.3) との比較では、本区がわずかに下回っているもののほぼ同水準となっている。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益傾向が大幅に改善した。販売価格は上昇傾向が大きく強まり、原材料価格も大幅に上昇した。資金繰りは窮屈感がかなり緩和し、借入難易度も厳しさが幾分和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 2.2 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

小売業	前期		業況 DI (Δ20.9) は前期比 15.1 ポイント増と悪化傾向が大きく改善した。全都 (Δ27.9) との比較では、本区の方が 7.0 ポイント上回っている。売上額と収益はともに非常に大きく改善し良化に転じた。販売価格は上昇傾向が大きく強まり、仕入価格も大幅に上昇した。資金繰りは窮屈感が若干弱まったが、借入難易度は厳しさがかなり強まった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 1.7 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

サービス業	前期		業況 DI (Δ5.6) は前期比 33.0 ポイント増と非常に大幅に改善した。全都 (Δ19.1) との比較では、本区が大きく 13.5 ポイント上回った。売上額は非常に大きく改善して増加に転じ、収益も減益幅が極端に縮小した。料金価格は再び上昇に転じ、材料価格も上昇傾向が大きく強まった。資金繰りは苦しさがかなり緩和したが、借入難易度は厳しさが幾分強まった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 1.3 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

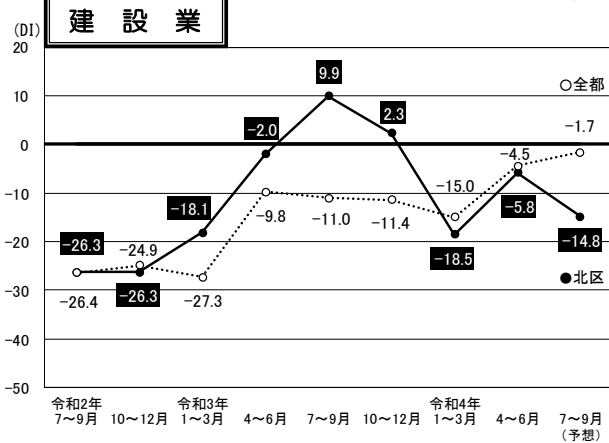
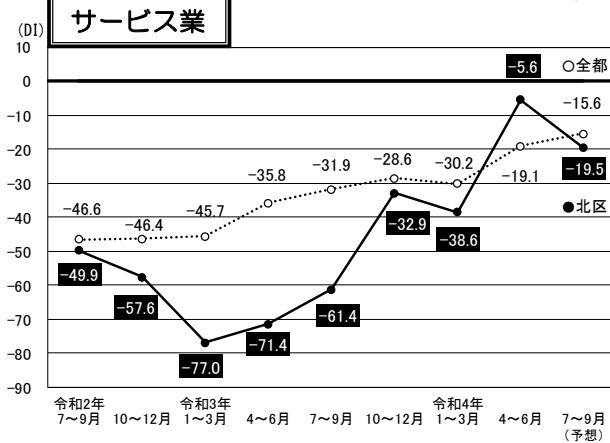
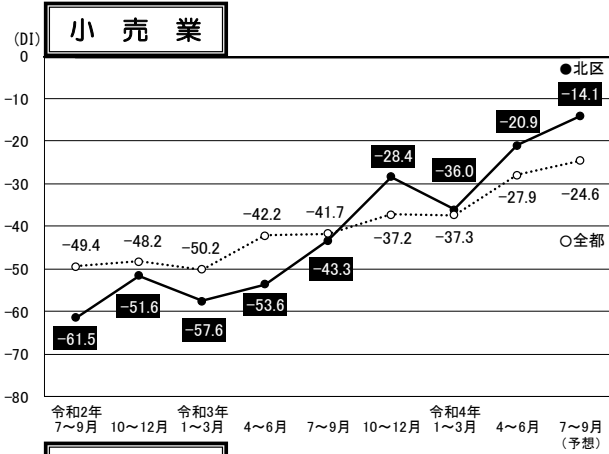
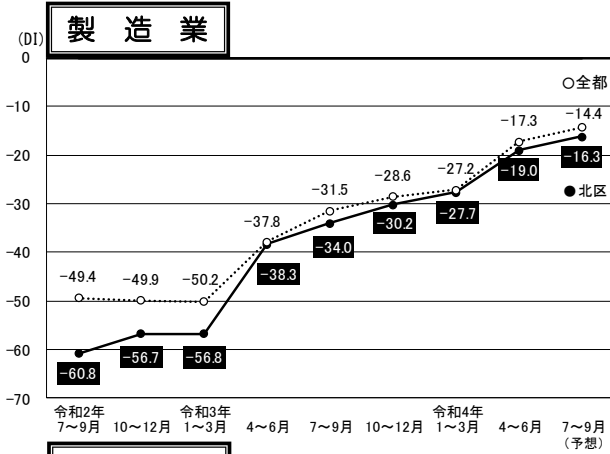
建設業	前期		業況 DI (Δ5.8) は前期比 12.7 ポイント増と大幅に改善した。全都 (Δ4.5) との比較では、本区がわずかに下回っているもののほぼ同水準となっている。売上額は前期並で推移し、収益は減益幅が大きく拡大した。受注残と施工高はともに減少傾向が大幅に強まった。請負価格は前期並の水準で推移し、材料価格は上昇傾向が更に強まった。資金繰りは良化傾向が若干弱まり、借入難易度は容易さが幾分増した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 0.3 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

※DI (Diffusion Index) とは

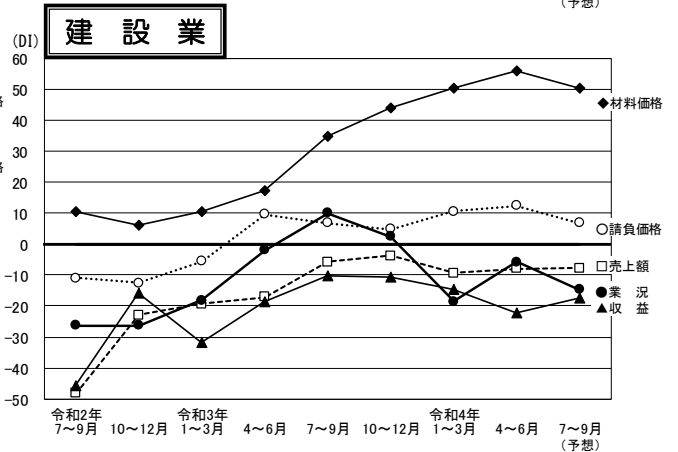
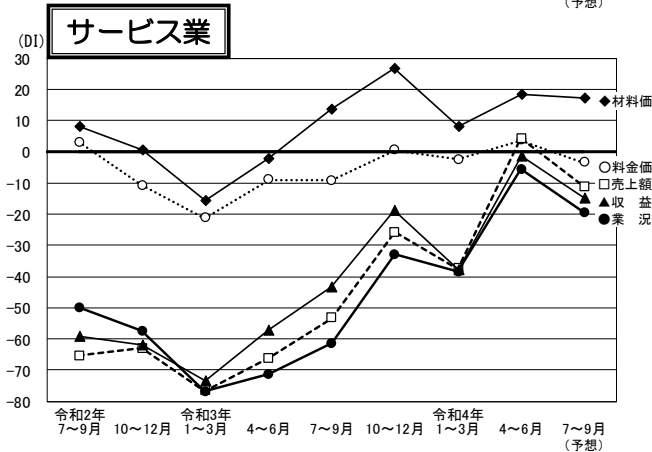
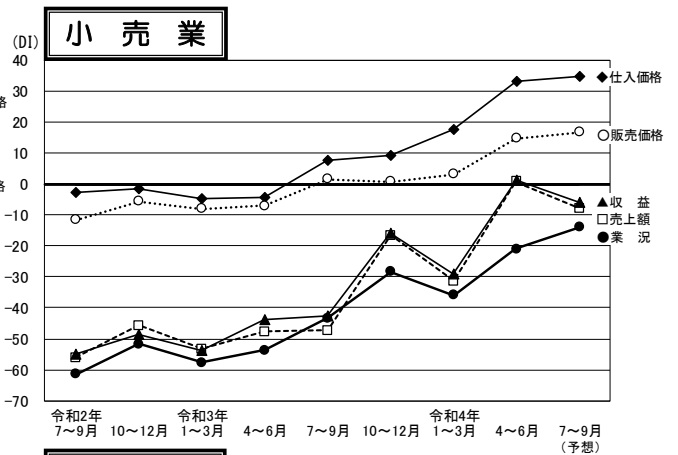
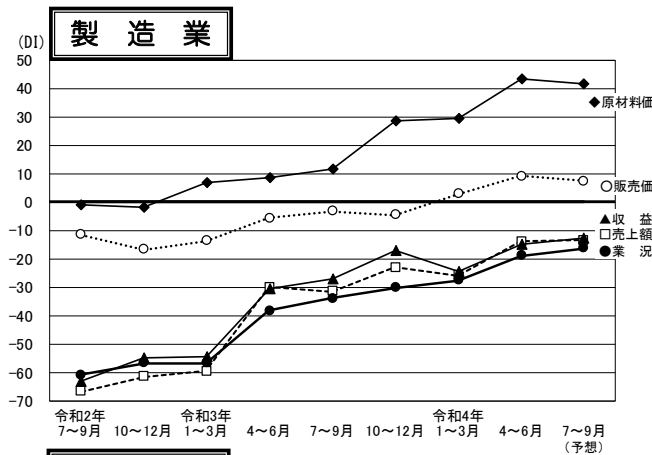
DI (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

例: 「良い」 28.7%、「どちらでもない」 49.4%、「悪い」 21.9% の場合 → 28.7 - 21.9 = 6.8 (=DI)

北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



北区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	売上の停滞・減少	49.5%	売上の停滞・減少	56.7%	同業者間の競争の激化	32.1%	材料価格の上昇	56.3%
	原材料高	35.8%	大型店との競争の激化	26.7%	売上の停滞・減少	28.6%	売上の停滞・減少	28.1%
	同業者間の競争の激化	28.4%	同業者間の競争の激化	23.3%	材料価格の上昇	17.9%	同業者間の競争の激化	21.9%
	利幅の縮小	18.9%	仕入先からの値上げ要請	15.0%	店舗・設備の狭小・老朽化 人件費の増加 大企業との競争の激化	10.7%	人手不足	15.6%
	工場・機械の狭小・老朽化	11.6%	利幅の縮小				利幅の縮小	

北区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	販路を広げる	63.2%	経費を節減する	41.7%	販路を広げる	39.3%	経費を節減する	59.4%
	経費を節減する	41.1%	品揃えを改善する	40.0%	宣伝・広告を強化する	21.4%	販路を広げる	34.4%
	情報力を強化する	16.8%	商店街事業を活性化させる	16.7%	経費を節減する		人材を確保する	25.0%
	新製品・技術を開発する	12.6%	売れ筋商品を取り扱う 宣伝・広告を強化する	11.7%	店舗・設備を改装する	14.3%	技術力を高める	18.8%
	機械化を推進する	6.3%			人材を確保する 技術力を強化する	7.1%	情報力を強化する	

東京都の景況

<製造業>

一般機械、建設用金属、化学工業を中心に業況の改善が進んだ。売上額・受注残・収益においても大きく上向いた。価格面では、原材料価格が一段と上昇を強めたことにより、販売価格も上昇を強めた。資金繰りは厳しさを弱め、在庫は前期並の不足感が続いている。

<小売業>

個人消費の拡大により飲食店やスポーツ用品・玩具を中心に業況は改善した。売上額・収益においても持ち直しの動きを強めた。価格面では、仕入価格が上昇を強めたことにより、販売価格も上昇し物価の上昇が見られる。

<サービス業>

まん延防止等重点措置が解除となり、人出の増加などで対面型サービスの需要拡大を受け、洗濯・理容・美容、娯楽を中心に業況は改善した。売上額・収益においても改善が見られた。価格面では、材料価格の上昇は一段と強まり、料金価格も上昇を強め、価格転嫁が一部で進みつつある。資金繰りは厳しさが和らぎ、人手は慢性的に不足感が続いている。

<建設業>

材料価格、請負価格において一段の上昇が見られるものの、業況の回復が大きく見られた。売上額・受注残・収益においても上向き、施工高は増加し持ち直した。

特別調査「混迷する経済社会情勢と中小企業経営」～コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて～

問1 経済社会情勢について特に懸念しているものについて（最大3項目まで）

	原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰	エネルギー以外の価格高騰	原材料の仕入れ不可能	コロナ長期化による需要急減	人手不足、人件費上昇	日本と諸外国との関係	米中貿易摩擦	戦争、紛争等がもたらす社会不安	その他	特に懸念しているものはない
全業種	38.1	35.1	30.1	25.1	12.6	5.9	3.3	14.2	0.4	10.5
製造業	44.2	38.9	34.7	28.4	10.5	7.4	3.2	10.5	-	11.6
小売業	31.7	31.7	21.7	28.3	11.7	8.3	5.0	11.7	-	11.7
サービス業	46.4	21.4	14.3	25.0	10.7	-	3.6	28.6	-	7.1
建設業	31.3	43.8	56.3	9.4	21.9	6.3	-	12.5	-	3.1

問2 エネルギー価格上昇による収益への影響、省エネに向けた設備投資実施予定について

	収益への影響						省エネの設備投資		
	危機的な悪影響がある	かなり悪影響がある	多少悪影響がある	ほとんど影響はない	むしろ好影響がある	わからない	その他	実施予定がある	実施予定はない
全業種	0.4	13.4	49.8	13.0	-	23.4	-	3.3	96.2
製造業	-	14.7	53.7	10.5	-	21.1	-	3.2	96.8
小売業	-	10.0	46.7	15.0	-	28.3	-	3.3	96.7
サービス業	-	17.9	39.3	10.7	-	32.1	-	7.1	92.9
建設業	3.1	12.5	56.3	15.6	-	12.5	-	3.1	96.9

問3 サイバー攻撃による被害状況、サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢整備について

	サイバー攻撃による被害			人材の確保・体制の整備			
	攻撃を受けて被害があった	攻撃を受けたが被害はなかった	攻撃を受けたことはない	できている	できていない	わからない	当社には関係ない
全業種	-	3.3	96.7	10.9	24.7	26.4	38.1
製造業	-	4.2	95.8	11.6	33.7	23.2	31.6
小売業	-	1.7	98.3	8.3	16.7	30.0	45.0
サービス業	-	3.6	96.4	7.1	7.1	21.4	64.3
建設業	-	3.1	96.9	21.9	25.0	21.9	31.3

問4 賃上げ実施状況とその理由について

	賃上げを実施した理由					賃上げを実施しなかった理由				
	政府の賃上げ要請	自社の業績改善を反映	同業他社、地域他社の賃上げ	従業員の待遇改善	その他	これまでに賃上げを実施済み	景気見通しが不透明	自社の業績状況	賃上げを検討したことがない	その他
全業種	0.4	3.3	0.8	6.3	0.8	4.6	31.8	18.4	32.2	1.3
製造業	-	4.2	1.1	7.4	-	3.2	36.8	25.3	21.1	1.1
小売業	-	-	-	-	-	5.0	31.7	10.0	53.3	-
サービス業	-	7.1	-	3.6	-	-	14.3	25.0	50.0	-
建設業	-	6.3	-	9.4	6.3	6.3	37.5	9.4	18.8	6.3

問5 コロナ禍による事業承継（M&Aを含む）の考え方の変化について

	事業承継の方法に変更はない	事業承継の検討を始めた	事業承継の時期を早める	事業承継の時期を遅くする	事業承継の後継者を変更する	事業承継予定だったが、廃業を検討する	事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した	廃業予定だったが、事業を継続する	その他	事業承継について考えたことがない
全業種	43.5	5.4	0.4	-	-	0.8	-	-	2.5	47.3
製造業	41.1	8.4	-	-	-	1.1	-	-	3.2	46.3
小売業	46.7	3.3	-	-	-	1.7	-	-	1.7	46.7
サービス業	35.7	3.6	3.6	-	-	-	-	-	3.6	53.6
建設業	34.4	3.1	-	-	-	-	-	-	3.1	59.4

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

4-2-006